

「はやぶさ」354号 2020年09月18日(金)

アフターコロナ時代の経営戦略

新刊「**理念経営実戦のすすめ**」予告・はやぶさ版

###free1###

###name### 様

◆コロナ対策で日々奮闘しております、医療従事者や行政等の関係者に心よりの感謝を捧げます。
◆コロナショックが、私達の日常生活や経済活動はもちろんの事、政治や行政に甚大な影響を与
新しい価値体系と理念が求められていると観じています。100年に一度と云われてますが、明治
維新以来(150年前)の時代変革が地球規模で起きていると感じていますが、どうでしょうか？
そうした時期に、私の知見と50年の経営支援の経験知から、特に中小企業の経営の視座でどう
考察すべきか、近未来はどう生きたらいいのかの私見を述べます。

◆「理念経営実戦のすすめ」は、アフターコロナの時代に合わせて27年ぶりに改訂したもので、
経営者の皆さんに考働基準の参考となるよう「実戦」を中心にまとめました。10月にはお手許に
お届けできる予定です。是非、ご高覧いただければ幸いです。

~~~~~

アフターコロナ時代の経営戦略(5回シリーズ)  
新刊「**理念経営実戦のすすめ**」予告・はやぶさ版

「はやぶさ」354号 2020年09月18日(金)

【第4回】 イノベーションが進行する時の経営指針・大成の条件

著者：(株)I&C・HosBiz センター

Captain 平本 靖夫

・プロフィールは <http://rinenkeieishi.net/corporate/index.html#hiramoto>

~~~~~

目次に代えて情勢により追加・変更がありますことをご理解ください。

① #351・・・・・・200807・・・・・・バックナンバー

https://rinenkeieishi.net/archives/data/mls722lpdf_1_407.pdf

本書をお読みいただきたい方・アフターコロナ時代の経営環境

② #352・・・・・・200821・・・・・・バックナンバー

https://rinenkeieishi.net/archives/data/mls722/pdf_1_408.pdf

ビジネスモデルの策定のヒント

- ③ #353 200904 バックナンバー

https://rinenkeieishi.net/archives/data/mls722/pdf_1_409.pdf

統計を読みたくカ・フロパガンダに巻き込まれないために・自分の体のコントロール

- ④ #354 200918 今回の掲載

イノベーションが進行する時の経営指針・大成の条件

- ⑤ #355 201002

理念経営の実戦・勇気と希望をもって・SDGs との関係

** 予告ですので変更することがありますので、悪しからずよろしくお願いします。

◆本書をお読みいただきたい方・ 新刊「**理念経営実践のすすめ**」

* 本書は、意思決定や行動が周りや社会に大きな影響を与える、企業の経営者や管理者、組織の統括者やリーダー、経営支援家やビジネスブレン、ジャーナリスト、ヤングエグゼクティブ、行政機関や社会インフラ維持の執行責任者等の皆さんで、この混沌とした時代においても「やらねばならぬことがある=使命」と心魂が騒ぐ方に読んでいただければ幸いです。

~~~~~本 文~~~~~

1、世開の組織機構はイノベーション（技術革新）とウイルス禍によって激変してきた有史以来の世界で人類は、ウイルスと係わって生存してきた。私の見解ではこれもGDの基本戦略の一つで「地球環境（動植物・大気・海洋・土壌等・・）を破壊する行為」に対して峻厳な愛がもたらされるのだと観じています。

したがって、人類が真のミロク（清豊の理念）に目覚めるまでエンドレスに続くことであろうから、今回のアフターコロナを「4つのテーゼ」にもとづいて進化実践しなければならなければ、存在の理念が成り立ちませんし、生まれてきた意義がないのです。

やり遂げましょう！

2、GDの4つのテーゼに従って世開は動いている。地球環境の回復・維持と人々を幸せにするビジネスを見出していく

GDの本質は「愛」の銀河のホワイトホールです。ですから私たちも「愛」になるために、この世で魂の修行をしているのです。

GDは行動指針として四つのテーゼを示しています。

- ① 不戦 . . . . . どんな時も決して争ってはいけない

- ・許す「愛」の実戦 ・恨み心では争いは消えない
  - ② 不縛 . . . . . 戒律を作って相手や自分の「心と身」を縛らない
    - ・個性を認め活か合う ・全ての存在する物質、生き物には「神性・仏性」がある
  - ③ 不結社 . . . . . 教団や思想の結社を作って他を「魔」として排除してはならない
    - ・大調和を乱す最大の原因である宗教戦争、イデオロギーの壁をなくす
  - ④ 不介入 . . . . . 本人の依頼がない限り自立性を尊重し決して手を出してはならない
    - ・個人、組織体、国体のあるがままを認めて協調を実戦する
      - ・あるがままに愛する . . . . 総合相互（お互いが活かしあって存在する）
- GDの四つのテーゼが具現した地球の世界は、「平和・地球環境・愛念」が進化し「清豊＝ミロク」の世開が現れるのです。

### 3、大成の条件・解説

「素直・自助努力・謙虚」 . . . 素直が全ての考働の基本的姿勢です

より高い次元へ自らを高めるために、より多くの人びとの共感と協力を獲得して事を成して行くには三つのことを心がけよといわれています。

その第一は「素直さ」です。

この素直さを妨げるのは自我の殻で、過去の経験や見方、生き方によって自分を確立しようとしてきたその努力の方向性そのものによって、蓄積されてきた水アカのようなものです。本来の自己を曇らせ被い隠しているものを取り除いて、純なる自己を再発見することが自我の殻を脱ぐこととなります。

それは何も知らなかった子供の頃に回帰することではなく、世の荒波を越えてきた船乗りが(手でオールを漕ぐ)筋肉の歪みを取るクーリングダウンを行うように、スポーツ選手がストレッチングを行って体調を整えるように、一つの目的達成に励んだことが成果のアンバランスを生み、歪みとなりプラスとマイナスとなっていることを自覚して、リラックスした体と心、快い軽い緊張感にリフレッシュさせることに似ています。つまり原点回帰です。

この素直な状態が最大のパワーを生み出す大前提であり、大成するための資源の第一です。時に信念の強さと素直さは相反するようにもとられ誤解されています。協調性もそうした誤解がありますが、自分の考えを捨て付和雷同することではないのです。

この素直さは、より高次の方々（守護・指導霊）、貴人となる人びとへの想いで指針

は常に上に向けられているのです。そしてどんな環境や仕打ち、たとえそれが理不尽な葛藤と思えることから学びとる素直さが、その人を懐の深い人に、そして人の心の痛みがわかるリーダーに育ててくれるのです。

### 第二は自助努力の精神です。

どんな状況であろうと、環境と人のせいにしては局面の打開はできませんし、人びとの協力を得ることはまずできないのです。

同じような局面を経験している人から見れば背が立つ瀬で溺れるとさわいでいる人や、実際に溺れている状況にありながら、宝飾品を身につけ、リュックに荷物を詰め肩にかけ、両手には生きるにすぐには必要ない遊び道具を持ち、服を着たまま靴を履いたまま流れている。そんな人が岸にいる人や船に乗っている人に「オイ、助けて！」と叫んでいては誰も助けません。

一番大切なことが生き伸びることであるのに、すべてを捨て岸に上がる時に、湯上がりと同じ姿になっていては、周りの人の目が恥しいと思っているようでは、つまり執着の中ではどんどん深みへ流されていくでしょう。

精進の徳の人から見れば、貴人から見ればその成りふりかまわすの努力を評価するのです。懸命に頑張っている人を踏みつけにはできないのです。

“天は自ら助ける者を助ける”は真実なのです。心配、苦言は形を変えた愛の姿なのであり、自らの責任として自覚し、今までの場面々々における選択と判断の結果が今をもたらしているのだと想うならば、やがて活路は見えてくるのです。

企業経営の全責任は経営者にあり、経営者の姿勢と力量が、未来を決めるのです。順境の時は凡々たる精進を、逆境の時はほとぼしるほどの自助努力と自己革新(心のS&B)をして前進するのです。

この経験は年輪となり風格として備わるのであり、困難な時は勇気を持って立ち向かっていくことが限りなき前進への道となるのです。

### 第三は謙虚さです。

地位が上がったり、資金があり成功の状態にあると、人は寄って来て下にも置かない立ち振る舞いをして、いかにも自分がエラくなったように思えてきます。

そのとき最も危険な状況に入っているのですが、本人は周りの人びとのヨイショにいい気分のままで、タクシーを乗るにも、カラオケの順番でも、料理が用意されるタイミングまで自分中心でなければ納得しない。

そして空腹の人に向かって、今おいしいものを食べて来たと言ったと自慢するような無意識の残酷さで、儲かっていること発展していることを、資金調達に苦しんでいる人の前に得意気に話す。プライドや自尊心が非常に強くなり、人びとの心の様相が見えなくなって慢心の状態になります。そしてこのままでは小成に終わってしまう、逆境が来たとき支援する人が少なくなっている、真に想ってくれている人を遠ざけて

いることに、気がつかないままにあることが多いのです。

他人の不幸に同情することはある程度の心のやさしさがあればできますが、心の底に自分はそうではなくてよかったとする想いの中で、同情と侮蔑を持って見ている時がしばしばあります。弱い立場にある人は、自分がどのように想われているのか一瞬に感じ取ります。

真に難しいのは他の者の成功や幸福を素直に、我が事のように祝うことです。妬みや嫉妬心を抱くことなく、一緒に喜ぶことはなかなかできないことです。

私もこの念と戦ってきましたし、判断を狂わせた時、正直今もときどき深い反省を感じています。

謙虚さは絶対なる者（GD）、はるかなる高次の方々への畏敬、つまりは報恩と感謝の裏付けがあって本物になり得るのです。

一人では生きられない、皆兄弟・ワンネスと悟った時に心に去来するのです。

最後に、念いの方向性を点検することも忘れてはなりません。念いは必ず実現するのですから・・・

その念いがたとえ誤っていたとしても念ったとおりに実現するのですから、念の鑄型が正しいか、その方向が「世のため人のため」経国済民(清豊＝ミロク)の方向に向いているか、自己実現が他人の人生を自分の都合のいいようにねじ曲げたり、害を与えたりしてないか、真なる幸福にいざなっているかを特に人を裁くような時、どうしても企業規模や組織を縮小バランスをしなくてはならない時に、何度も再建の手術はできない時に、私心を去って判断しているか、お互い生きるために大切なものは何かを点検していただきたいのです。

そこにはやはり固い自己信頼が底流にあってこそ、たくましくダイナミックに、そしてエキサイティングなワクワクする人生が訪れるのです。

\* リーダーの「器」とは

①先見性 ②予知能力 ③決断力 ④愛念 ですが、詳論は別の機会に譲ります。

そのリーダーの強化が災害を最小化し、回復を早めることになるのです。

つまり人材育成の教育事業なのです。

~~~~~

次回#355号より通常の隔週・金曜日に戻りますので、よろしくお願いします。

5回シリーズ 第5回・理念経営の実戦・勇気と希望をもって・SDGs との関係
をお送りいたします。

最後までお読みいただいて感謝いたします。本当にありがとうございます。

では、また次号で元気でお会いしましょう！

*****魂の同窓会**第22回 理念経営セミナー（LW セミナー）のご案内**

20・10・13(火)・会場：JR 御徒町南口・徒歩 3 分・講師：Captain 平本 詳しい内容と
開催要領は https://rinenkeieishi.net/archives/data/mls723lpdf_1_178.pdf

をご覧ください

* * お問い合わせ・質問は メールアドレス： hos_biz@hosbiz.net

発行責任者：平本 靖夫、 編集長：石川 昌平

配信解除URL：配信停止をご希望の際は、以下のアドレスをクリックしてください。

http://1lejud.com/stepmail/dela.php?no=xxewhs&a_mail=###mail###